

(様式3)

事業所名 グループホームすめらぎ
ユニット名 さくら・なのはな
作成日: 令和 3年 12月 9日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	23	本人の思いを中心に暮らしの希望や意向を把握していかなければならないと思いつつ、日頃の業務に追われ、職員中心になってしまっている部分がある。	入居者本人の暮らしの希望、意向の把握ができ、全スタッフに周知していく。そのことにより、入居者本人が安心、穏やかに生活できるよう支援していく。	それぞれの担当スタッフが、日頃からコミュニケーションを取ることで、本人の思いや暮らしの希望、遠慮して言えない事などを把握、担当スタッフ以外との情報共有をしっかりと取っていくことで、自分の事は職員がわかっているという安心感を持っていただく。	12ヶ月
2	13	全スタッフが常にステップアップしていく意欲や機会を設けていく必要がある。	・スタッフ一人ひとりが探求心を持ち続けていく。 ・「やった!できた!認められた」というように、仕事への意欲、やる気に結び付けられるようにしていく。 ・老健との職員異動がある。どの職員もしっかりとしたスキルを身に着けていくようにする。	管理者がスタッフの一人ひとりのレベルを把握し、レベルの向上に向けた日常的な指導の継続と訓練・研修への復命を徹底していく。	12ヶ月
3	48	コロナ禍の状況の中で、どうやって楽しみや張り合いを持って生活できるかを支援していくことを考える。	感染を怖がり、生活の楽しみや喜びを無くすのではなく、創意工夫し感染防止に努め、毎日の生活を張り合い喜びを持って生活し頂く。	今まで行っていた行事については時間短縮し行っていく。畑の充実を図り、自分のできることで張り合いを持ち、外出できない分、ホームの中での楽しい行事の企画を増やしていく。共に生活をしていく仲間、スタッフとの絆を深めていく機会を作っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月